

# 植田中だより

自律的な生徒を育てる  
～自己有用感を高める活動を通して～

## 令和5年度学校評価アンケートの結果と考察

昨年度と今年度の数値を掲載しました。数値は全てパーセンテージとなっています。なお、回答の数値は、数字が大きいくほど達成感が高いことを示しています。

<生徒アンケート> ※回答総数769名

No	質 問 項 目	令和5年度				令和4年度			
		4	3	2	1	4	3	2	1
①	私は、学校が楽しい。	62	31	8	1	62	31	5	2
②	私は、きまりや規則を守って生活している。	55	41	4	0	61	35	3	0
③	私は、進んであいさつをしている。	45	42	12	1	50	37	11	2
④	私は、学校の行事に積極的に取り組んでいる。	44	44	10	1	48	43	8	1
⑤	私は、学校努力点の目標を知っており、言うことができる。	29	30	26	15	25	30	31	19
⑥	私は、授業に集中して取り組んでいる。	44	47	8	1	47	44	7	1
⑦	私は、授業中に積極的に発言したり手を挙げたりしている。	17	24	39	20	23	23	35	18
⑧	私は、分からないことは積極的に人に聞いたり調べたりしている。	36	45	16	3	42	39	16	3
⑨	私は、自分の興味・関心に応じ、自分のやりたいことを見つけて取り組むことができる。	49	40	9	1				
⑩	私は、学ぶペースや方法、内容などを自分で選択し、決定しながら学習に取り組んでいる。	34	45	18	3				
⑪	私は、見通しをもち、振り返りながら学習に取り組んでいる。	23	46	26	5				
⑫	私は、自分の将来を考え、目標に向けて努力している。	33	40	21	5	35	39	21	5
⑬	私は、友人や級友を思いやって生活している。	63	34	2	0	68	29	2	1
⑭	私は、困った時には家族、友人、先生などの人と相談している。	45	36	14	5	45	35	14	6
⑮	私は、学校であったことを家の人に話している。	44	31	18	7	48	31	15	7
⑯	私は、ルールを守ってスマホやタブレットなどを利用している。	52	37	8	3	53	34	9	3

質問の①～⑤は「学校生活の様子」についての質問です。質問①～④に関しては、4・3と肯定的な回答をした生徒が、どれも90%前後いました。どの質問も昨年度同様高い水準を維持しておりますが、今後もより高いポイントを目指し、日々の教育活動を進めていきます。また、質問⑤に関しては、生徒への学校努力点の浸透度です。今年度で3年目となる努力点で、数値だけ見ればまだまだ浸透度は満足できるものではないものの、2・3年生での数値は高く、上級生になるにしたがって、学校努力点を生徒も意識していることがわかりました。

質問の⑥～⑪は「学習状況」についての質問です。特に、⑧～⑪までは、学校努力点である「自律的な生徒を育てる」を意識した設問となっています。⑨～⑪は今年度から新たに設定した質問項目であり、「ナゴヤ学びのコンパス」に示される考え方にも沿った質問となっております。⑨、⑩では肯定的な回答が多く、学年が上がるにつれてその数値は大きくなっています。しかし、⑪にある見通しや振り返りをともなう学習は、まだまだ改善の余地があると考えられます。

質問⑫～⑯は「豊かな心、自己の向上」についての質問です。質問⑬の「級友を思いやる」ことについては97%の生徒が肯定的に回答しており、よりよい交友関係を築いています。一方、質問⑮の「学校であったことを家で話している」については、肯定的なポイントが年ごとに下がっています。家族や先生など話せる大人がいるという生徒にとって安心できる環境を、学校でも家庭と協働して構築していきたいと思えます。

保護者アンケートの結果は下表の通りです。生徒アンケートと同じような項目になるよう質問をしました。

<保護者アンケート> ※回答総数395名		令和5年度				令和4年度			
		4	3	2	1	4	3	2	1
①	お子様は、楽しそうに学校に通っていると思いますか。	42	45	10	2	45	43	10	2
②	お子様は、ルールやマナーを守って学校生活を送っていると思いますか。	60	36	4	0	59	37	3	1
③	お子様は、進んであいさつすることができていると思いますか。	29	52	18	2	32	50	16	2
④	お子様は、学校行事に積極的に取り組んでいると思いますか。	45	45	9	3	44	48	7	2
⑤	保護者の方々は、植田中学校の学校努力点の目標を知っていますか。	31	37	27	5	23	36	35	7
⑥	お子様は、授業に集中して取り組んでいると思いますか。	31	54	14	2	28	56	13	3
⑦	お子様は、授業中に積極的に発言したり挙手したりしていると思いますか。	11	36	41	11	14	37	40	9
⑧	お子様は、分からないことを積極的に調べたり聞いたりしていると思いますか。	14	40	39	8	12	41	40	7
⑨	お子様は、自分の興味・関心に応じ、自分のやりたいことを見付けて取り組むことができていると思いますか。	30	50	18	2				
⑩	お子様は、学ぶペースや方法、内容などを自分で選択し、決定しながら学習に取り組んでいると思いますか。	23	41	30	6				
⑪	お子様は、見通しをもち、振り返りながら学習に取り組んでいると思いますか。	14	36	40	10				
⑫	お子様は、自分の将来の夢について家族に話してくれていると思いますか。	19	37	37	7	19	38	34	9
⑬	お子様は、友人と仲良く生活していると思いますか。	51	43	4	2	53	40	7	1
⑭	お子様は、悩んだり困ったりしたときによく家族に話をしてくれると思いますか。	24	53	20	3	25	53	20	2
⑮	お子様は、学校であった出来事をよく話してくれると思いますか。	23	45	26	5	27	47	22	5
⑯	お子様は、スマートフォンやタブレットなどをルールを守って使用していると思いますか。	20	45	26	8	19	46	27	9

生徒用の質問と対応する形で質問しています。まず「学校生活」に関する質問では、質問①～④で生徒と同様に肯定的な回答が高い数値を維持しています。また、質問⑤の「学校努力点を知っている」については、生徒と同様に「知っている」と回答された保護者の割合が年ごとに多くなっています。来年度もこれまで以上に保護者のみなさまに学校努力点をご理解いただきながら、保護者と協働して日々の教育活動に取り組んでまいります。

「学習状況」についての質問では、生徒の回答と異なっていることが分かります。全体的に保護者の方々の否定的な回答が、生徒よりも高くなっています。これは、保護者の方々のお子さんに対する期待が強く表れているからだと考えます。学習の定着には、日々の学習の積み重ねが大切です。次年度も今年度のように学校開放日（授業参観日）を設定する予定ですので、家庭での学習の様子と、学校での学習態度をよくご覧いただき、生徒が自律的に学習を続け、学力が定着するよう支援をしていただけたらと考えます。

「豊かな心、自己の向上」については、質問⑮の「学校であった出来事をよく話してくれる」は回答のポイントが下がっているのが気になります。保護者の皆様には、日々お子さまと学校生活を始めとして、様々なことについて会話していただき、気になることがあればいつでも学校にご連絡いただければと思います。

質問⑯の「情報に関するモラル」ですが、今年度も生徒の回答と比べると、否定的な回答が多くなっています。このことより、生徒は自分自身ではスマートフォン等の使用ルールを守っていると思っているが、保護者の視点では決してそうではないということがわかります。学校では、毎年生徒に正しい使用方法やモラルについて指導しており、来年度も外部講師を招いて講演会を行う予定です。ご家庭でもSNSの使用法など、常に話題にしていきたいと思っております。

このアンケート結果や学校評議会でのご意見は、次年度の学校努力点の目標に盛り込んでいくとともに、指導の見直しや改善に役立てていきます。ご協力ありがとうございました。